現在下水処理業務に関わっている自治体職員に聞いた!



72.6%が事故リスクを「高い」と認識も、 バックアップ体制「十分」はわずか 31.4% 法定耐用年数超過が招く危機への対策とは?

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査

Research Outline

調査概要

調査機関

セイスイ工業株式会社

調査名称

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

2025年10月6日~同年10月10日

有効回答

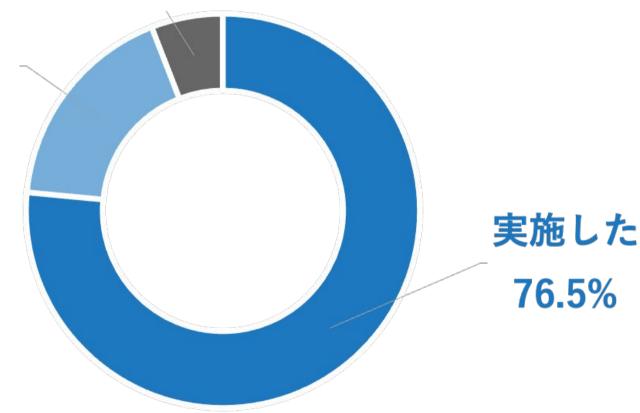
現在下水処理業務に関わっている自治体職員102名

※合計を100%とするため、一部の数値について端数の処理を行っております。 そのため、実際の計算値とは若干の差異が生じる場合がございます。 Q1 2025年以降に発生した下水道管破損による道路陥没事故の報道(※ 2)を 受けて、あなたの自治体では何か具体的な対応を実施しましたか。

> わからない/答えられない 5.9%



17.6%



※2 朝日新聞:

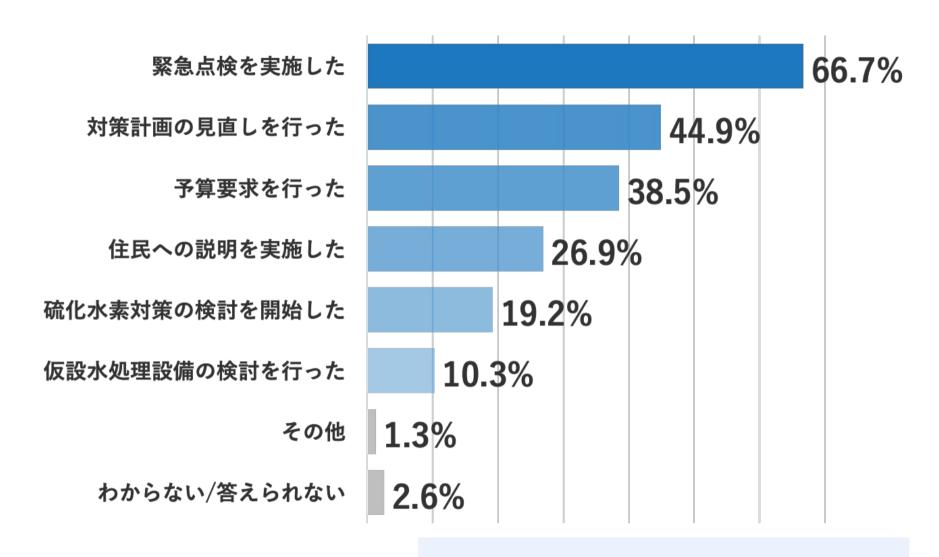
https://www.asahi.com/articles/AST1Z2HRRT1ZOXIE019M.html

調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102

約8割が、2025年以降に発生した下水道管破損 による道路陥没事故の報道を受けて、 具体的な対応を実施しています。

*Q1で「実施した」と回答した方への質問 どのような対応を実施しましたか。(複数回答)

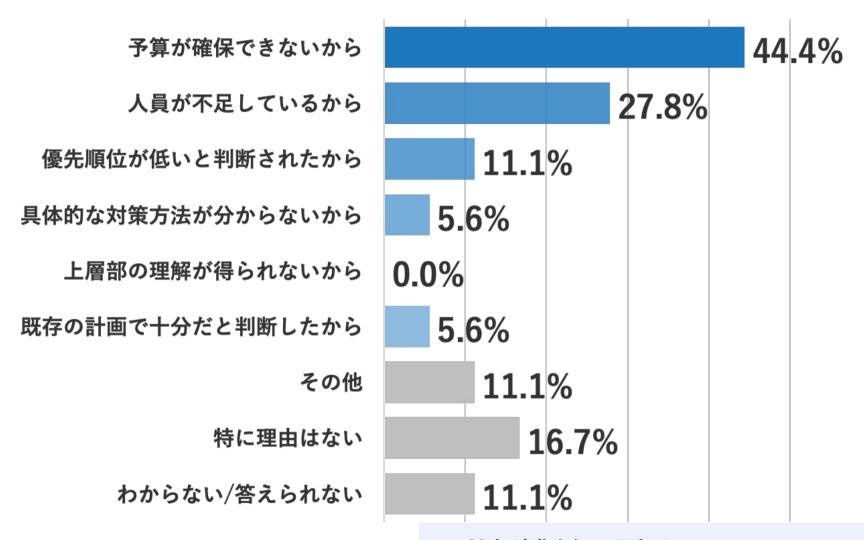


実施した対策では、「緊急点検」や「対策計画の見直し」が上位となりました。

調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=78

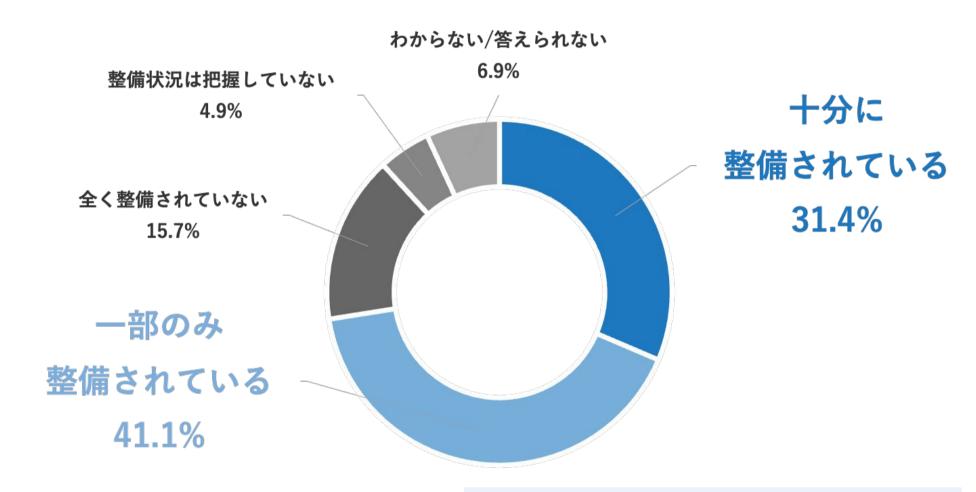
*Q1で「実施していない」と回答した方への質問 対応が進まない理由を教えてください。(複数回答)



調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日

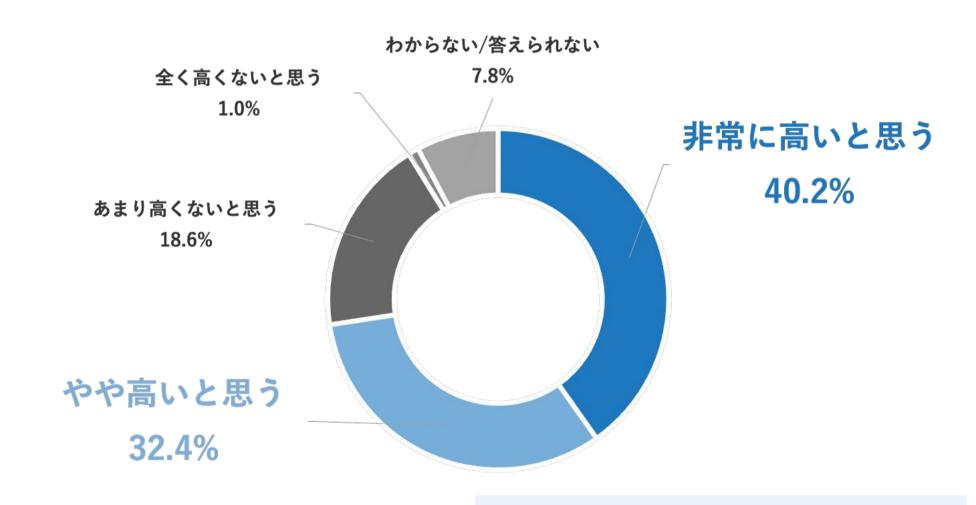
2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=18

対応が進まない理由は、 「予算が確保できないから」が 44.4%で 最多となりました。 Q4 あなたの自治体では、災害や事故による下水道施設の機能停止に備えた バックアップ体制(仮設水処理設備等)は整備されていますか。



調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102 災害や事故による下水道施設の機能停止に 備えたバックアップ体制について、41.1%が 「一部のみ」、15.7%が「全く整備されていない」実態 が明らかとなりました。

Q5 あなたの自治体において、下水道インフラに関する事故リスクは どの程度あると思いますか。



7割以上が、下水道インフラに関する事故リスクは「高い」と回答しています。

調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102

*Q5で「非常に高いと思う」「やや高いと思う」と回答した方への質問 **Q6 事故リスクが高いと感じる理由を教えてください。(複数回答)**

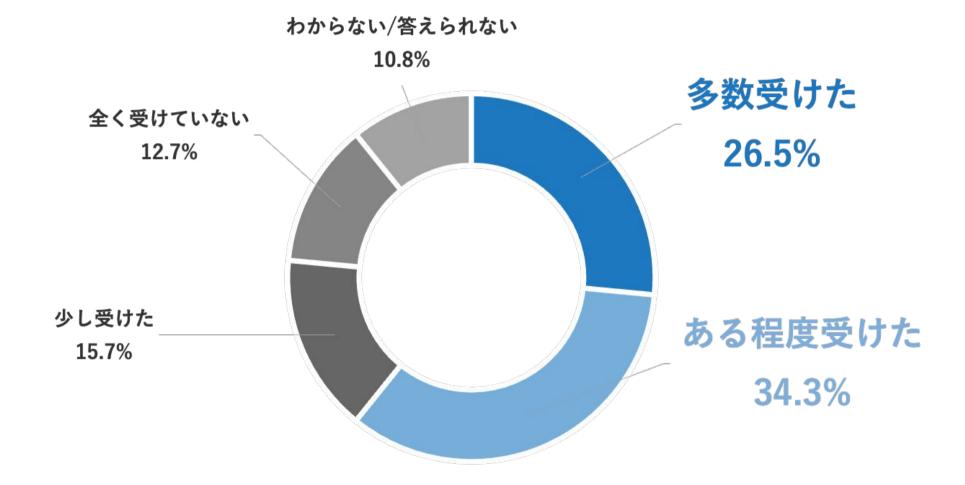
法定耐用年数(50年)を超えた 54.1% 下水道管路が多いから 硫化水素による腐食が進んでいるから 45.9% 点検が十分に実施できていないから 45.9% バックアップ体制が整っていないから 33.8% 過去に類似のトラブルがあったから 29.7% 技術職員が不足しているから 25.7% 予算不足で更新が遅れているから 24.3% その他 1.4% 特に理由はない 1.4% わからない/答えられない 0.0%

調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=74

事故リスクが高いと感じる理由は、「法定耐用年数(50年)を超えた下水道管路が多いから」が54.1%で最多となりました。

Q7 2025年以降に発生した下水道管破損による道路陥没事故の報道以降、 住民から下水道インフラに関する不安の声や問い合わせを受けましたか。

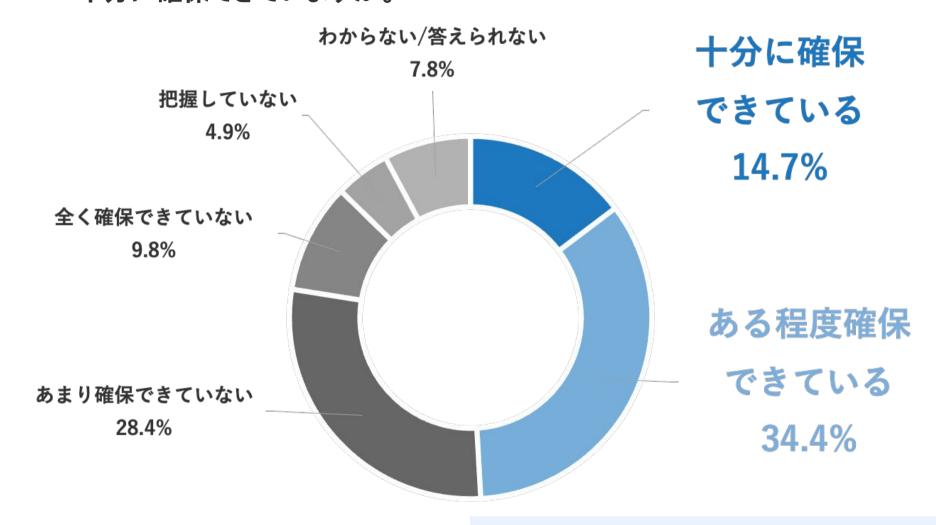


約8割が、2025年以降に発生した下水道管破損による道路陥没

事故の報道以降、住民から下水道インフラに関する不安の声や 問い合わせを「受けた」と回答しています。

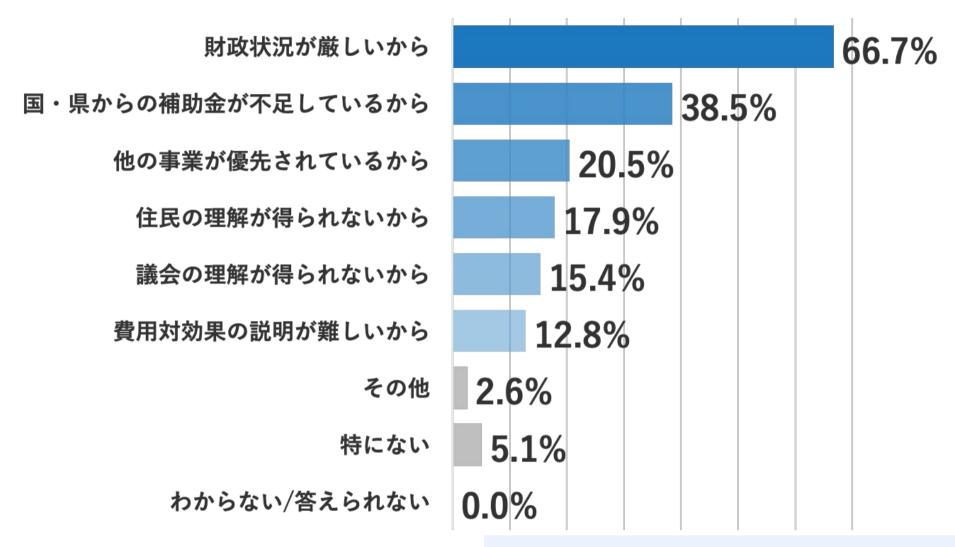
調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102

Q8 下水道インフラの老朽化対策を進めるための予算は 十分に確保できていますか。



調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102 約4割が、下水道インフラの老朽化対策を進めるため の予算が「十分に確保できていない」実態 が明らかとなりました。

*Q8で「あまり確保できていない」「全く確保できていない」と回答した方への質問 **予算確保ができない理由を教えてください。(複数回答)**

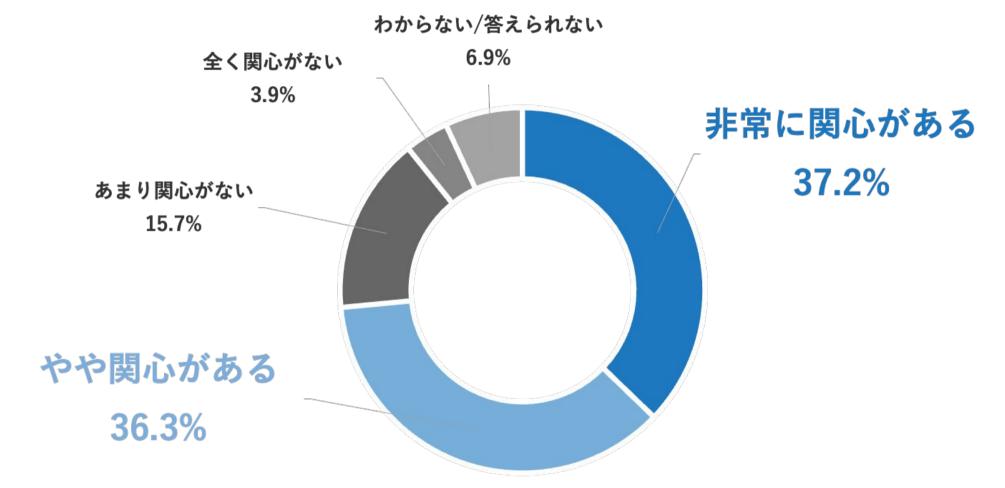


調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年時 | 天水道ス・フラネた仏対策に関する実験調整

2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=39

予算確保ができない理由、「財政状況が厳しいから」や「国・県からの補助金が不足しているから」が上位となりました。

Q10 下水道施設の更新・修繕時や緊急時のバックアップとして、仮設水処理システム仮設水処理プラントの活用に関心がありますか。



調査期間: 2025年10月6日~同年10月10日 2025年版 | 下水道インフラ老朽化対策に関する実態調査 | n=102 7割以上が、下水道施設の更新・修繕時や緊急時の バックアップとして、仮設水処理システム仮設水処理 プラントの活用に「関心がある」と回答しました。

Service

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や 災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理可能



全国2,600件の豊富な実績!レンタル用水処理機器を利用した仮設水処理プラントで解決

他社ではできない排水処理・汚泥処理2,650件の豊富な実績に基づく技術力で解決します。本設でも使用されている水処理機器を組み合わせた仮設水処理プラントをレンタルしています。工場や土木工事現場、下水処理場、発電所の排水・汚泥処理施設のメンテナンス時や機器トラブル時の代替処理、災害復旧など様々なご要望に対応します。

<排水や汚泥の処理、水処理機器の補修や点検、トラブル時に、こんなお困りごとはありませんか?> 大量の廃水や汚泥の処理に困っている 処理方法を模索したが適切な方法がわからない 排水や汚泥処理のコストを下げたい

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理します。

詳しくはこちら:https://seisui-kk.com/

Contact

お問い合わせ

企業名

セイスイ工業株式会社

MAIL

seisui-kk@ideatechbaynich.jp

WEB

https://seisui-kk.com/

会社住所

〒265-0045 千葉県千葉市若葉区上泉町424-18 ちばリサーチパーク内